

別記様式（第4条関係）

会 議 録

| | | |
|-------------------------------|--|----------|
| 会 議 の 名 称 | 第3回 宍粟市参画と協働のまちづくり指針策定委員会 | |
| 開 催 日 時 | 令和3年10月5日（火）10:00～12:00 | |
| 開 催 場 所 | 宍粟市役所3階庁議室 | |
| 議長（委員長・会長） 氏 名 | 委員長 作野広和 | |
| 委 員 氏 名 | （出席者） 作野広和・野村和男・森脇常公・ 加治瑞穂・太田卓・柏木登起 | （欠席者） |
| 事 務 局 氏 名 | 市民生活部：山本次長 まちづくり推進課：小河次長兼課長・福田係長・上川主事 人権推進課：梶原課長 | |
| 傍 聴 人 数 | 0人 | |
| 会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由 | 公開・非公開 | （非公開の理由） |
| 決 定 事 項 | （議題及び決定事項） ・宍粟市内15地区の現状について ・地域運営組織について ・宍粟市における地域運営組織のあり方 ・次回日程：令和3年11月19日（金）14:00～ ・次々回日程：令和3年12月10日（金）午前 | |
| 会 議 経 過 | 別紙のとおり | |
| 会 議 資 料 等 | 別紙のとおり | |
| 議 事 録 の 確 認 （記名押印） | （委員長等） _____ 作野 広和 _____ ㊟ | |

(会議の経過)

| 発言者 | 議題・発言内容 |
|------|---|
| 事務局 | ※開会 |
| 委員長 | あいさつ |
| 委員長 | (1) 宍粟市内 15 地区の現状について事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | ※ (1) 宍粟市 15 地区の現状について説明 |
| 委員長 | 何かご意見等あるか。 |
| 副委員長 | 市内の 15 地区は様々な地域事情があり、まちづくりの指針を宍粟市で 1 つとするのは難しく、地区ごとに考える方が良いように思う。 |
| 委員 | 副委員長の意見と同じであり、千種町は小さいが一括りにするのは難しく、似たような地区を集めて考えてみるのが良いと思う。 |
| 委員 | 千種町は資料の人口ピラミッドでは 60～70 代が多いが、今の 60～70 代は元気なので、まだまだまちづくりに関われるのではと思う。 |
| 委員 | 繁盛地区の現状はいくらか把握していたが、資料から別地区と比較することで危機的な状況だと痛感した。市内には高齢化率が低い地区もあり、今まで繁盛地区は市外の人を力を借りていたが、市内の人の力も借りられるのではと希望も見えた。 |
| 委員 | 山崎町や一宮町のように旧町連合自治会と地区自治会が別々にあると、縦の関係を今後どうしていくかのかが気になる。繁盛地区、千種地区は、単位自治会で地域づくりを担ってきたが、その住民だけでは高齢化もあり限界。攻めの活動や将来を見据えた地域づくりができない。繁盛は地域外の力をうまく活かされている。自治会だけで先を見据えた地域づくりをやっていくのは難しく、補完できる仕組みを考えないといけない。 |
| 委員長 | 地区自治会と旧町連合自治会の役割や位置づけを教えてください。 |
| 事務局 | 山崎町連合自治会では年度当初に会議があるのみであり、市連合自治会での協議結果等を各地区自治会へ伝えている。一宮町連合自治会は地区自治会の代表 |

| | |
|------|--|
| | 者が集まって月に1回程度会議されている。波賀町、千種町は町連合自治会で、2か月に1回程度会議されている。 |
| 委員 | 町によって町連合自治会の性質が違うとのことだが、今後町連合自治会がどのような役割を担っていくのかも考えておく必要がある。 |
| 委員長 | 宍粟市の特色としては、4町が合併しているのでそれぞれの町の特色を活かしていかないといけない。 宍粟市でUターン、Iターンの人数は把握しているか。 |
| 事務局 | 詳細は把握できていない。 |
| 委員長 | 地元に住んでおられる人としてはどう感じているか。 |
| 副委員長 | 今まで都市部に住んでいて、定年後に宍粟市に戻って住んでいる方はいくらかいる。 |
| 委員 | 繁盛地区への移住者はあまりいないように思う。地域おこし協力隊や市営住宅に住んでいる人くらいである。地域に馴染んでいただきたい思いがあるが、自治会への加入がない人もある。 |
| 委員長 | 移住者が少ないというのは、宍粟市のウィークポイントのように思う。 |
| 委員 | 朝来町と千種町で比較するとUターンの差は大きくはない。移住者の数字に違いがあり、千種町は人口の3%（49人）で、40代から60代が多い。朝来町は人口の9.8%（350人）で、10代の子どもが一番多い。今後の人口減少、少子高齢化が進む中で、移住者等を受け入れる態勢がある方が結果的に若者や女性が活躍しやすい風土につながる。 |
| 委員長 | （2）地域運営組織について事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | ※（2）地域運営組織（総務省資料）について説明 |
| 委員長 | ポイントは資料にもあるように地区自治会を無くすという意味ではなく、補完する組織ということ。 地域運営組織は地区自治会と並行した位置づけや、別々にせずに地区自治会を進化させている地域もある。地域によって様々であり、宍粟市であればどの手 |

| | |
|------|---|
| | 法があっているのか協議していきたい。 |
| 副委員長 | 総務省が地域運営組織についての資料を出しているということは全国的に地域運営がうまくいってないため、地域運営組織の設立を勧めているということか。 |
| 委員長 | 2000年代までは中山間地域は集落や単位自治会で運営する流れが強かったが、人口減少や高齢化もあり難しくなっている。市町村合併で自治体は大きくなっているが、構成している住民は同じなので、やっていくのは難しい。そのため学校や事業所などが参画し、全員で地域を守っていこうという仕組みが地域運営組織と呼ばれている。 |
| 委員 | 背景には地域づくりに女性参画を増やしたいという考えがある。自治会の世帯代表は多くが男性で中山間地域であるほどその傾向が強い。これから人口減少が進み地域の課題が出てくる中で、若い力をこれからの地域づくりの中でどうしていくのかが問われている。 自治会がすべて担うのは大変だが地域課題には取り組まないといけない。自治会長の負担を減らすためにも地域運営組織などで担い手を増やす仕組みをつくらないと自治会長の負担は増える一方だと思う。 |
| 委員長 | (2) 地域運営組織（新見市の取組み）について事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | ※ (2) 地域運営組織（新見市の取組み）について説明 |
| 委員長 | 新見市は全地区共通の地域運営組織をつくろうとしており、地域運営組織のマニュアルも行政が作っている。そのため、地域の特色を活かしているかという疑問が残る。 |
| 副委員長 | なぜ総務省が地域運営組織を勧めているのか。 |
| 委員長 | 市町村合併を進めたのは総務省であり、メリットもあるが面積が広い町になると周辺部がさびれがちになるというデメリットもある。それを補完するために中山間地域では地域運営組織が合っているのではないかということである。 (3) 宍粟市における地域運営組織のあり方についても関連するので続けて議論したい。 参画と協働のまちづくりについて議論はしているが、地域運営組織を立ち上げることが決まっているわけではない。 |

| | |
|------|---|
| 委員 | 千種町は少子高齢化が進みこのままではダメだという声があり、3者連絡会で協議を進めている。地域の困りごとなどについてアンケート調査をし、様々な意見があり今後について話し合おうと報告会を予定している。少しずつ千種のまちづくりについて先が見えてきたように思う。 |
| 委員 | 千種のまちづくり推進委員会の担い手を増やして進化させていかないといけない。千種は3者連絡会があり、組織体制をどうしていけばよいのかと地域と考えていきたい。新見市のやり方がすべて当てはまりはしないと思う。一方、繁盛は5年、10年先のまちづくりを考えることが難しくなっていて、MORE 繁盛が設立されている。繁盛の場合は連合自治会も含めた地域運営組織の方が良いのではと思う。 |
| 委員 | 自治会や連合自治会は大切であり、それらを省いて仕組みをつくるのは難しい。繁盛は自治会や連合自治会を取り込みながら徐々に進化させて地域運営組織を立ち上げるのが良いかなと思う。各地域で状況は様々だが、自治会を軸にして地域運営組織を立ち上げていくのが良いかなと思う。 |
| 副委員長 | 地域が良くなるようにPTAや商工会、自治会などが各々で活動し、まとまったの活動が出来たらよいとは思いますが、年代なども違い難しい。女性参画は大事だが若い母親は出てきにくい。自治会としても女性の声は必要だと思う。 |
| 委員長 | 様々な組織があるが、同じテーブルにつき、同じ目標に向かって活動を行うことが大事である。そうすることで普段届かない人の声が反映されたり、担い手が増えたりする。 |
| 事務局 | 生涯学習推進協議会は旧町ごとで活動しており多くの方が参画しているが、他の団体と重複している部分もある。地域の人の思いは同じなので、地域がうまく寄り添える形を目指していくことが大事なのではと考える。一方で、人口減少などの問題もあるので共有し考えていきたい。 |
| 委員長 | 次回以降、宍粟市においてどのような地域運営組織の形が考えられるのか協議していきたい。地区ごとで様々な形で良いのではと思う。 |
| 委員 | 生涯学習を進めている点は素晴らしいことで、そんな地域は自分の地域のことを自分のこととして考える意識が高いように感じる。一方で、いろいろな協議会のような組織が重複しているのではないかなと思う。各町によって様々な協議会があったりなかったりするので15地区と同じ圏域で活動している協議会が |

| | |
|------|---|
| | <p>連合自治会以外にどれくらいあるのか調べることは今後まちづくりを進めるうえで大事だと思う。</p> |
| 委員長 | <p>様々な主体が集まってどういうことを検討をするのかということだが、住民自治、生涯学習、地域福祉、定住のあり方についてが、大きな協議の軸になると思う。地域運営組織が最終的にどうなるのかということだが、私は学校教育・社会教育・生涯学習の三位一体を目指し地域を支えていく人を継続的につくっていくことを目指すことだと思う。</p> |
| 委員長 | <p>(4) 次回、次々回の日程について事務局よりお願いする。</p> |
| 事務局 | <p>今回は11月19日14時から、次々回は12月10日で考えているのでよろしくお願ひしたい。</p> |
| 副委員長 | <p>※閉会あいさつ</p> |

言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。